

はじめに

「預金が500万円あるのですけど、何に投資したらいいですか？」

仕事柄、このような質問をよくされます。

しかし、このような質問では私は何も答えません。答えようがないのです。

このような質問の裏には、何か有利な投資先、確実に儲かる投資商品はありますか？という意図があるのでしょうか。もしくは、この超低金利の時代、預金をしていてもほとんど資産が増えることがないので、世の中では投資をしている人が増えており、マネー雑誌や投資本などが書店に並んでいるのを見て、投資をしなければと困っているのでしょうか。

投資を始めようと思うこと自体は、本書でこれから示すように、これからの時代必要不可欠といっても過言ではないでしょうから、正しいと思います。ただ、投資を始める際に、何をまず考えなければならぬか、ということが間違っているのです。

そこで先ほどのような質問をされたら私は、「投資は何のためにするのですか？」とお伺いします。

ただ単にお金を増やすということを目的に投資をすると、必ず失敗するからです。

なぜ必ず失敗するかと申しますと、誰でもお金を増やしたいと思うでしょうが、ただ増やしたいという目的がないと、ただだけのリスクをとっていいかわからないからです。FXでレバレッジをかけて投資して（もう投機ですね）、失敗する例が沢山見受けられます。これはレバレッジをかければかけるほどうまくいけば利益率も大きくなりますが、その代わり逆方向に行けば、ほんの少しの動きでロスカットといった憂き目に遭ってしまいます。

ですから、ただだけのリターンが必要なのかということがわかっていなければならぬのです。ただだけのリターンが必要かは、それはとりもなおさず、何のために投資するのか？ということに直結するのです。

もう少し言うと、この投資の目的は、日々の生活を豊かにした上で、自分の夢やライフデザインを実現するためであるべきだと私は思っています。

それ以上のお金を求めるといえるのは強欲であり、こころのコントロールを失っている可能性が高くなるので、戒めるべきだと考えます。

いずれにせよ、投資の目的、そしてその必要な資金額およびいつまでに必要かがわかれば、ただだけの利率で運用したらいいか（ターゲット運用レート）がわかるのです。

このターゲット運用レートが決まったところではじめて、どういう資産に投資したらいいかをはじめて検討できるのです。

しかし、実はターゲット運用レートだけでは、運用を開始できません。なぜなら、どれだけのリスクを取れるかという問題があるからです。これをリスク許容度といいます。そのターゲット運用レートを達成するために取らなければならないリスクがあなたのリスク許容度を超えていた場合、ターゲット運用レートの変更、ひいては、当初の投資目的の変更も考える必要があるのです。このように投資を始める最初の一步の段階から、考えなければならないことがたくさんあるのです。

本書では、この最初の一步である心構え、スタンスから、どのような商品に投資したらいいいのか、それをどのようなタイミングで投資をしたらいいのかまで解説します。その中で、IT、金融テクノロジーの進歩に伴って、私たち個人投資家がどのように進化したらいいいのか、更には、積極的なポートフォリオ運営方法までも網羅しています。

とても盛りだくさんの内容ですが、この一冊をマスターしたならば、かなりのレベルの投資家へと成長できると信じています。

では、具体的に本書の構成、内容を説明いたします。

第1章では、「投資力」を高めれば、ライフデザインや夢が実現し得ることを書いて

います。「稼ぎ力」がなくても「投資力」があれば、夢が実現します。しかし逆に、「稼ぎ力」があっても「投資力」がないと、思った通りの生活すらおぼつかない可能性があるのです。また、投資をするのは週に一度、週末に行えば十分ということを説明しています。

第2章では、マーケットの荒波を乗り越え、ライフデザインを実現するために「本物の投資家」になるための考え方を説明しています。

第3章では、これまで資産運用でうまくいかなかった原因を考え、投資に必要な能力とは何かを説明します。そして、資産運用で成功する8つの法則を挙げて、これから最低限行っていかなければならないことを説明します。

第4章では、5W1H投資術の本質である、投資・資産運用を行う際に確認しておかなければならない心構え、スタンスを5W1Hで説明していきます。

第5章では、具体的に、どこの国に投資したらいいかを考える上でのポイントを説明し、新興国を中心に幾つかの国の相場の特徴を図表を用いてわかりやすく解説しています。ボラティリティ（変動率）の高い新興国株式投資においては投資タイミングが重要になります。その投資タイミングを考えた投資方法についても説明しています。

第6章では、あまり馴染みのない債券投資について説明しております。債券投資とい

うものが確実に利益を上げられるものであることがわかります。信用リスクのトレードという高度な取引手法についても言及しました。

第7章では、外貨預金やFX取引で馴染みがある外貨投資について取り上げます。海外投資を行うときに必ず出てくる為替リスクについての新しい考え方を説明しています。どの通貨への投資がいいのかのヒントも提示しています。「お金の引越し」も視野に入れた外貨投資を考えてみました。

第8章では、不動産投資に関する、基本的な考え方を不動産現物とREITなどの金融商品に分けて説明しております。

第9章では、近年個人投資家にも投資チャンスが出てきたオルタナティブ投資について説明しています。プライベートエクイティ、コモディティ、CFD、ヘッジファンドについて取り上げています。

第10章では、資産運用の母体ともなるべきポートフォリオ設計について説明しています。人生におけるトータルなキャッシュフローを考慮したカスタムメイドのポートフォリオの造成方法について解説しています。

諸星きぼう